

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ミニヨンヌアリス (保育所等訪問支援)		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 26日	～	令和8年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 2	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 26日	～	令和8年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8	(回答者数)	8
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 1月 26日	～	令和8年 2月 7日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 2	(回答者数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の発達状況や特性に配慮したSST(集団・個人)に取り組んでいます。	個々のニーズや課題に合わせた療育を展開しています。普段の遊びや課題活動に生活動作訓練や機能訓練を効果的に取り入れながら自信に繋がられるよう支援を行っています。	日々の療育内容や成長等をよりわかりやすくお伝えできる方法やツールの活用を検討しています。
2	視覚支援を充実させています。	日々のスケジュールや時間、場所、方法等について、個別に必要な性を加味しながら視覚支援を取り入れることで自主性を育てるよう支援を行っています。	現在使用している視覚支援をより有効に活用できるよう充実を図っていきます。
3	施設内に未就学から生活介護までの複数の事業所があり、ライフステージに沿った支援を展開できる	ライフステージの移行に伴う情報交換を充実させています。また、将来を見据えた支援を展開できるよう、それぞれの事業所の課題や事業についての情報を共有する機会を定期的に設けています。	各種委員会(感染防止、虐待防止、リスクマネジメント、地域交流)活動をさらに活性化させ、情報交換を行い、支援の充実を図っていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による支援	専門職(理学療法士、言語聴覚士等)による支援・助言が望ましいが、人員の確保ができておらず、外部委託による連携にて支援を実施している。	外部委託での専門職による支援・助言を強化していきます。随時、専門職を中心に募集しています。また、専門性向上につながる研修に積極的に参加し、人材の確保、育成に取り努めていきます。
2	日頃の療育の様子などが保護者に十分に発信できていない。	支援終了後に面談や電話での伝達を行っているが、より充実させていく必要がある。	支援終了後に口頭での伝達とともに、画像や動画を利用したより分かりやすい提示・説明の仕方を検討していきます。
3	保護者参加型の活動や保護者会等の保護者やきょうだい児を含めた支援の充実の不足	保護者の皆様やきょうだい児への支援の必要性は加味しつつ、感染症の流行と拡大に伴い、重度重複障害等を含む利用者様の利用施設である点を考慮し、施設を開放した活動を制限しておりました。	利用者様の安全安心を確保し、ご理解を頂いたうえで保護者の皆様同士の交流の機会を設定できるよう検討しております。